<table>
<tr><td>授業科目名</td><td>教職実践演習（幼・小）</td><td>教員名</td><td>河原　国男
渡邊　耕二</td><td rowspan="7">卒業及び免許・資格との関係</td><td>卒　　業</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">科目番号</td><td rowspan="3">ENS401</td><td rowspan="3">配当年次</td><td rowspan="3">４年後期</td><td>小学校教諭</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>幼稚園教諭</td><td>必修</td></tr>
<tr><td>保育士</td><td></td></tr>
<tr><td>授業形態</td><td>講義</td><td>こども音楽療育士</td><td></td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>２単位</td><td>情報処理士</td><td></td></tr>
<tr><td>科目</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>施行規則に定める科目区分</td><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td>一般目標</td><td colspan="6">教育職員免許法施行規則第６条第１項十一において、教職実践演習に求められるガイドラインに沿って、以下の到達目標を掲げる。</td></tr>
<tr><td>到達目標</td><td colspan="6">(1)教員としての使命感、責任感、教育的愛情等を理解している
(2)社会性や対人関係能力を理解している
(3)幼児児童生徒の理解や学級経営に関することを理解している
(4)教科・保育内容等の指導力を理解している
(5)その他、教員として求められる資質（学外活動や保護者とのコミュニケーション能力）を理解している</td></tr>
<tr><td>ディプロマ・ポリシーとの関係</td><td colspan="6">本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「５.教育実践力を身につけている」「６.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている」を育成する科目として配置している。</td></tr>
<tr><td>授業の概要</td><td colspan="6">本授業では、①使命感や責任感、教育的愛情等に関すること、②社会性や対人関係能力に関すること、③幼児児童理解や学級経営等に関すること、④教科・保育内容等の指導力に関すること等について、教員として最低限度の資質・能力を身に付けているかどうかを確認する。また、学校側の視点や意見を反映させるため、学校現場経験者による講話等を取り入れる。また、「履修カルテ」を参考に、個別に補完的な指導を行う。授業形態は、演習とする。アクティブラーニングとして振り返り、レポート等を取り入れる。</td></tr>
<tr><td>履修条件・注意事項</td><td colspan="6">受講者数：
1)最大限50人（受講者数については、入学後のコース選択の結果により変動する）
2)本授業科目の趣旨並びに授業効果を確保する観点から、演習形式の授業では、必要に応じて最大限10人ずつの５グループ編成を基本とする。</td></tr>
<tr><td>授業計画</td><td colspan="6">第１回：河原国男（学部長）・渡邊耕ニ（10月7日（水）2限目）
オリエンテーション―本科目で求められる「教育の保証」の基本理念と学校現場でのその実践の諸局面について理解する。その上で、教員養成の現場に即した本演習で設定した到達目標に対する達成度について、学生は自身の学修の成果が記載された履修カルテ等を用いて振り返りを行い確認し、レポートとして提出する。（目標(1),(2),(3),(4),(5)）
第２回：城戸佐智子（10月15日（木）2限目）
幼児教育と小学校教育の接続における国の政策等についての講話を踏まえ、現状と課題・解決策等についてレポートとして提出する。（目標(3)）
第３回：鵜戸周成（宮崎県教育庁教職員課 専門主幹）（10月21日（水）3限目）
服務規律についてと教員のメンタルケアのあり方に関する講話を踏まえ、将来教員として採用された後の情報としてレポートにとりまとめ提出する。（目標(1)）
第４回：杉田康之（10月28日（水）3限目）
学級経営案づくりに関する講話を踏まえ、グループ討議を行い、教育実習における経験等を振り返り、今後学級経営に関する改善点としてレポートにとりまとめ提出する。（目標(3)）
第５回：田上幸雅（11月4日（水）3限目）
保護者・住民との人間関係づくりについての講話を踏まえグループ討議を行い、現状と課題について確認を行いレポートとして提出する。（目標(1),(2)）
第６回：河原国男（11月11日（水）3限目）
育成指標を意識しつつ各自が目指す教師像、保育者像を明確にし、その上で、新任式での自己紹介というロールプレーイングを一人一人行う。その後に、自他のその実践について振り返り、改善点等をレポートとして提出する。（目標(1)）
第７回：中西英（小戸小学校 スーパーティーチャー（算数））（11月18日（水）3限目）
小学校算数教育の現状と課題と小学校教員に求められる算数指導力に関する講話を踏まえ、どのように教材研究に取り組むかなどをレポートとして提出する。（目標(4)）
第８回：渡邊耕二（11月19日（木）3限目）
指導案作成に関する講話を踏まえ、教育実習等の経験や振り返りを行い、さらにグループ討議を行い、自分の改善点等を明確にする。（目標(4)）</td></tr>
</table>

	第９回：渡辺頼子（橲北小学校 スーパーティーチャー（学級経営））（12月2日（水）3限目） 生徒指導・教育相談と教員の役割に関する講話を踏まえ、教育実習における経験を行い、改善点等あればレポートにとりまとめ提出する。（目標(3)） 第１０回：松田昭憲（12月9日（水）3限目） 障害児のいる学級づくりに関する講話を踏まえ、現状と課題，解決方策等をレポートとして提出する。（目標(5)） 第１１回：岩切宏樹（西池小学校 スーパーティーチャー（外国語活動））（12月15日（火）3限目） 外国語（英語）の指導力に関する講話を踏まえ、自分の振り返りを行い不足点を確認の上、今後どのように取り組むかなどをレポートとして提出する。（目標(4)） 第１２回：山本辰典（1月6日（水）3限目） 幼小接続の観点と総合的な学習の時間について（造形表現等をテーマとして）の講話を踏まえ、自分の改善点等を明確にする。(目標(5)) 第１３回：原田俊彦（宮崎県教育庁義務教育課 指導主事）（1月13日（水）3限目） 宮崎県における教員採用試験合格後の「小学校新規採用教員の心構えと初任者研修」について講話を踏まえ、自分の教員としての素養について振り返りを行い、不足点等を明確にする。（目標(1),(2),(3),(4),(5)） 第１４回：渡邉裕（1月20日（水）3限目） 学習指導要領においてＩＣＴ活用と授業づくりが明記されていることから、宮崎県におけるＩＣＴ教育の現状と課題を知り、今後の自分のＩＣＴ教育における可能性を理解する。（目標(3),(4)） 第１５回：河原国男（学部長）・渡邊耕ニ（1月27日（水）3限目） 資質能力の確認について、履修カルテを再度確認する。学生個々に振り返りを行い不足する点、満足する点などを明確にするなどとりまとめを行う。（目標(1),(2),(3),(4),(5)）
授業外学修時間の確保について	毎回の講義では、事前学修として、講義前に配布されたプリントや指示された教科書・参考書を読み、重要な個所についてマークするなど事前に把握・勉強しておくこと。また、事後学修として、講 義で学んだことはカラーペン等でマークし、さらに板書等を書きこみ、要点等を整理して一冊のノー トにまとめること。また、毎週土日に必ず振返りを行い、不足する知識や技能は確認の上、必ず補 うこと。また、今までの授業との関連性についても常に把握・理解しておくこと。
学生に対する評価	レポート・自己点検シート・履修カルテ（100%） なお、レポート等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。 ・コメントを記載して返却する。 ・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。 ・答案例を配布する。
テキスト	各担当教員が用意する資料を使用（学生はファイルして保管）
参考書・参考資料等	『教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について』（中教審答申　平成24年８月） 『生徒指導提要』（文部科学省　平成22年３月） 『小学校学習指導要領（平成29年告示）』『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説　総則編』 『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉』『幼稚園教育要領〈平成29年告示〉解説』 『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説』（各教科、領域等）
担当者からのメッセージ	４年間の総決算であることを自覚し、不足している知識・技能を補う努力をすること。また、教員としての責任に鑑み、常に真剣に取り組むこと。
オフィスアワー	・河原国男：水曜日13：00～14：30 その他の日時はメール等でアポイントを取って来室すること。 ・渡邊耕ニ：木曜日16：20～17：15 ・その他の担当教員については、各教員のオフィスアワーを確認の上アポイントを取って来室すること。
備考	